

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部生活・文化課	関係部課室	教育庁文化財保護課
------	-----	-------	-------------	-------	-----------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	3 - 8 - 1	政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興
------	-----------	-----	---------------------

政策概要	余暇時間の増大や価値観の多様化を背景として文化や芸術への関心が高まっていることを受け、地域の誇りとなる文化・芸術の振興や保存を目指します。
------	---

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標	達成度
1	文化財、伝統文化の保存・継承・活用 先人から引き継がれてきた文化遺産や生活に息づいている文化を、保護、保存、活用し、次代に引き継ぐことを目指します。		
2	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり 豊かでうるおいのある生活を実現するため、音楽や演劇、美術、文学などの優れた芸術作品に、身近に接することができるような環境づくりを目指します。	県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数(主催事業参加者数)	B
3	県民が行う創作活動や表現活動への支援 創造的な営みを通していきいきとした暮らしを実現するため、県民が自ら行う創作活動や表現活動を支える体制づくりを目指します。	県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数(主催事業参加者数)	B
4	食文化等の生活文化の保存・継承・活用 地域の食材を生かした個性的な食の伝統を継承・活用し、豊かでゆとりのある食文化を醸成する取組を支援します。	食文化の醸成に取り組む市町村の割合	B
5	文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成 新たな文化・芸術を創造し、文化・芸術活動を活発にする土壌を作るため、次代を担う人材の育成を目指します。		
6	海外との文化交流等の推進 海外との文化交流や異なる文化の融合などにより、新たな文化が生み出される環境づくりを目指します。		

達成度:A(目標値を達成している),B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している),...(現状値が把握できないため判定不能)

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

	第5回(H17)	参考:第1~4回の推移	第4回(H16)	第3回(H15)	第2回(H14)	第1回(H13)
重視度(中央値、点) A	70.0	重視度 A	65	62	62	63
満足度(中央値、点) B	50.0	満足度 B	60	60	60	60
かい離 A-B 【かい離度】	20.0 【高い】	かい離 A-B 【かい離度】	5 【低い】	2 【低い】	2 【低い】	3 【低い】
満足度60点以上の回答者割合(%)	44.1	満足度60点以上の回答者割合	54.7	53.6	52.8	-

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第1~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切

概ね適切

課題有

A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 適切 ・県民が日頃行っている創作活動や表現活動、美術や演劇などの文化・芸術活動に親しむための環境づくりなど、政策目標にあった事業であり、施策目的に合致する。 【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・重複や矛盾は特になし A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 概ね適切 ・重視度は、過去の調査の中で、過去最高となった。事業実施の中で文化の重要性に関心が高まっている現れと見ることができる。 ・一方で、満足度は、過去の調査の中で、最も低い数値となった。性別・年齢別等でもあまり差異が見られない。これは、これまでの事業の積み上げの中で、目標が段階的に高度化すると思われること、また、県民が多様なライフスタイルを指向することから、多岐にわたる需要に発展していくものと考えられる。総合的にみると、事業や取組の積み上げにおいて、県民の認識が高度化するに連れ、事業等には、これ以上に期待していいはずという感覚を抱く傾向にあると思われる。 ・重視度が高まっていく傾向は、県民の文化に対する理解の深まり、需要の高まりを表しているものと判断される。 ・満足度が今回初めて50点になったことは、県民の文化に対する理解の深まり、需要の高まりが進んできているのに対して、より施策の質を高めていくことが求められている現れと考えられる。 ・ライフスタイルの変化やいわゆる団塊の世代の人材の現役引退等により、県民の行う文化・芸術活動も今後ニーズが増え、多様化することが予想され、文化芸術活動に触れる機会や活動の発表の場を設けることにより、県内の活動が飛躍的に拡大することが期待される。
--

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括
	優先度(直近の3回)	県民が必要と感じているか()			
1	第5回 37.6%	1位	・本施策の優先度は 6施策中 1位である。	・地域の重要な資源となる可能性を秘めているとして古いもの・伝統的なものが見直されている中、地域の歴史に根ざした祭礼行事、民俗芸能、伝統工芸等の伝統文化や文化財を、将来にわたって確実に継承し、発展させていくための取組が求められている。 ・地域の活性化のために、公立文化施設に文化芸術交流の支援、促進を行うセンター機能が求められる中で、公立文化施設の企画の充実に対する要望も増えている。こうした期待に応えるための公立文化施設の取組への支援を図る必要がある。 ・公立文化施設に住民の文化芸術活動の支援、促進を行うセンター機能が求められる中で、公立文化施設の住民の文化芸術活動への施設開放等、施設の有効活用に対する要望も増えている。こうした期待に応えるための公立文化施設の取組や県民・団体の文化芸術活動への支援を図る必要がある。 ・伝統食材や郷土料理等は、地域の産業振興につなげようとする動きも活発化している中で、これらの生活文化を掘り起こし、保存し、継承し、及び活用する住民の取組を支援する必要がある。 ・文化芸術活動を支える専門的な技術スタッフをはじめ、文化ボランティア、NPO等幅広い人材及び団体の育成が求められている。こうした期待に応えるための公立文化施設や県民・団体の取組への支援を図る必要がある。 ・国際化の流れの中で、文化芸術の交流を通じて、海外の地域と互いの文化芸術を理解し、尊重し、多様性を認め合うことは、相互理解を促進し、地域の活性化につながるものであり、こうした期待に応えるための市町村等の取組への支援を図る必要がある。	大
	第4回 34.3%	1位	・本施策のikai離は 10.0点と 中程度である。		
	第3回 35.8%	1位	【結論】必要性: ある程度感じている		
2	25.1%	2位	・本施策の優先度は 6施策中 2位である。		大
	28.8%	2位	・本施策のikai離は 20.0点と 高い。		
	25.3%	2位	【結論】必要性: ある程度感じている		
3	9.7%	4位	・本施策の優先度は 6施策中 4位である。	大	
	8.3%	5位	・本施策のikai離は 20.0点と 高い。		
	8.9%	4位	【結論】必要性: あまり感じていない		
4	16.6%	3位	・本施策の優先度は 6施策中 3位である。		大
	14.7%	3位	・本施策のikai離は 15.0点と 中程度である。		
	16.5%	3位	【結論】必要性: 比較的感じていない		
5	7.4%	5位	・本施策の優先度は 6施策中 5位である。	中	
	8.7%	4位	・本施策のikai離は 20.0点と 高い。		
	8.4%	5位	【結論】必要性: あまり感じていない		
6	3.2%	6位	・本施策の優先度は 6施策中 6位である。		中
	4.3%	6位	・本施策のikai離は 20.0点と 高い。		
	4.5%	6位	【結論】必要性: あまり感じていない		

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 概ね適切
 ・各個人の多様な価値観や満足度が反映されるような指標を検討する必要もあると思われるが、施策の性格上、短期的には県民満足度調査に反映しにくい面や、施策を支える事業の工夫次第で、県民満足度調査に今後どのように反映されるのか、推移をみる必要があると思われるので、しばらくは、事業内容の工夫を図るなど、事業推進に力を注ぎ、状況を見極めたい。
 【重視すべき施策に指標が設定されているか】 概ね適切
 ・重視すべき施策には殆ど設定されている。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視点	政策全体	施策2	施策3	施策4			
政策評価指標達成度	概ね有効	概ね有効	概ね有効	課題有			
県民満足度	課題有	課題有	課題有	課題有			
社会経済情勢	概ね有効	概ね有効	概ね有効	該当なし			
全体	概ね有効	概ね有効	概ね有効	課題有			

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・A-1政策の必要性は高く、施策群の設定は適切である。
 ・A-2指標の設定は妥当だが、一部の重視すべき施策に指標がない。
 ・A-3満足度で課題があるが、全体的な有効性は確認できた。
 以上A-1~3を総合的に判断し、「概ね適切」と判断した。

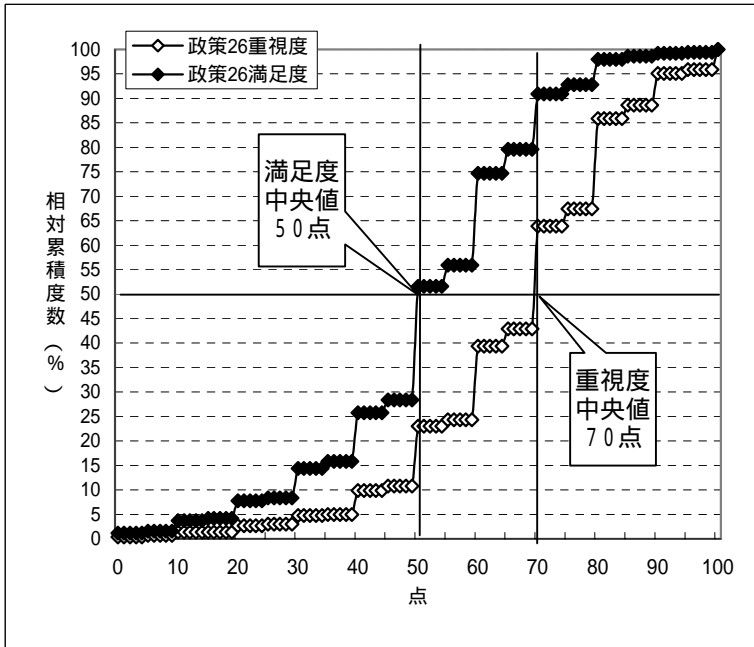
対象年度 H17

政策番号 3 - 8 - 1

政策名 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 62.9 高認知度 32.2



高関心度
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心がある」、「ある程度関心がある」を選択した回答者の全回答者に対する割合

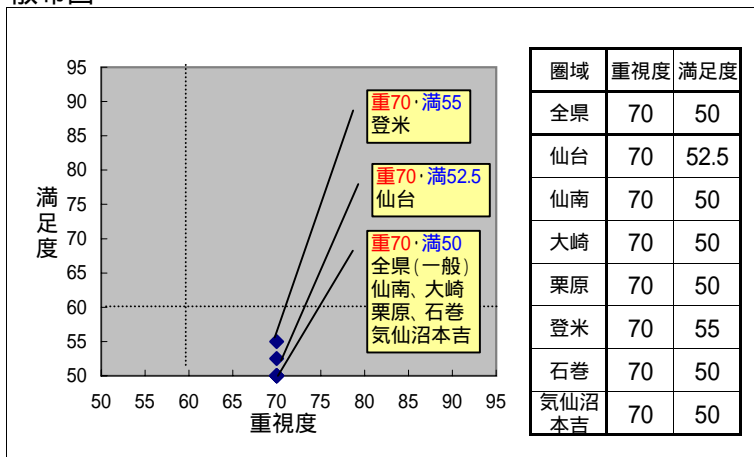
高認知度
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っている」、「ある程度知っている」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量

全県

項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	70	70	70	50	55	57.5
第1四分位	-	-	-	40	50	50
第3四分位	-	-	-	65	65	70
四分偏差	-	-	-	12.5	7.5	10

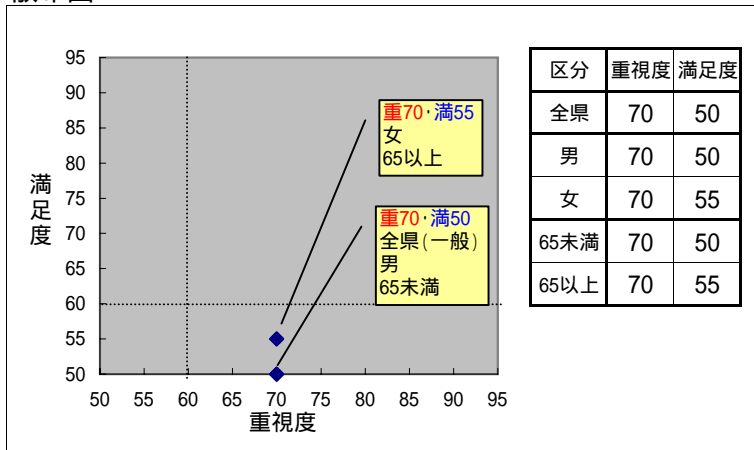
散布図



圏域別中央値(一般、市町村のみ)

圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
仙台	70	65	-	52.5	55	-
仙南	70	70	-	50	55	-
大崎	70	70	-	50	60	-
栗原	70	70	-	50	60	-
登米	70	62.5	-	55	57.5	-
石巻	70	62.5	-	50	50	-
気仙沼本吉	70	70	-	50	60	-

散布図



男女別・年代別中央値(一般のみ)

区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
男	70	-	-	50	-	-
女	70	-	-	55	-	-
65未満	70	-	-	50	-	-
65以上	70	-	-	55	-	-

対象年度 H17

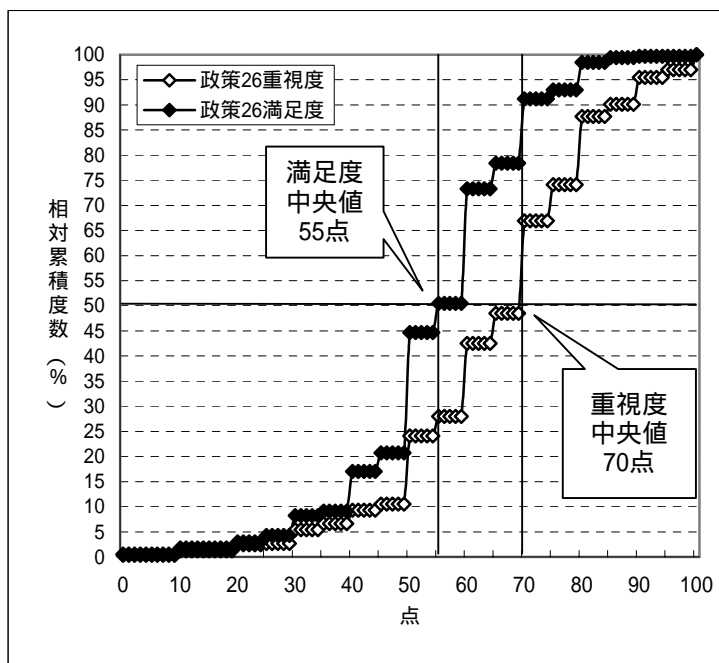
政策番号 3 - 8 - 1

政策名 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興

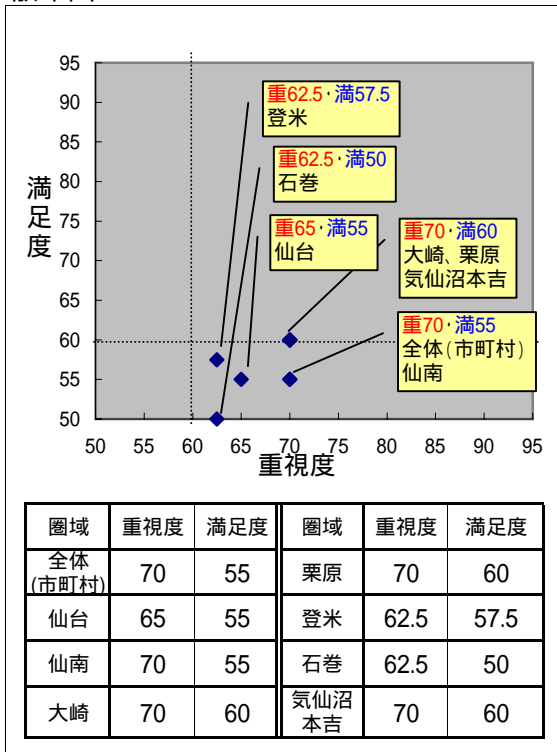
(2) 有識者(市町村職員)満足度調査結果

高関心度 63.8

高認知度 40.1



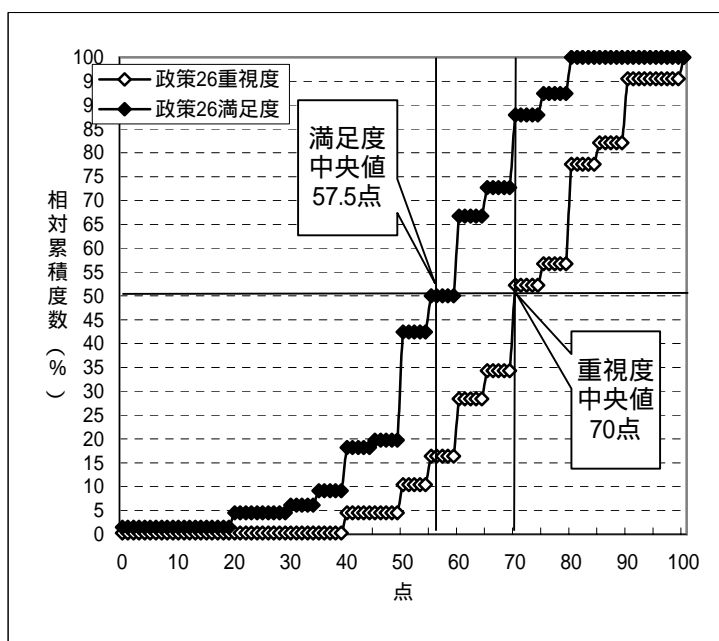
散布図



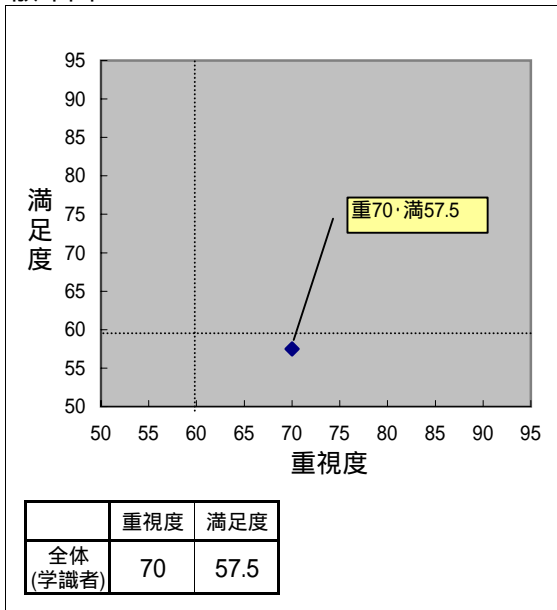
(3) 有識者(学識者)満足度調査結果

高関心度 77.3

高認知度 57.5



散布図

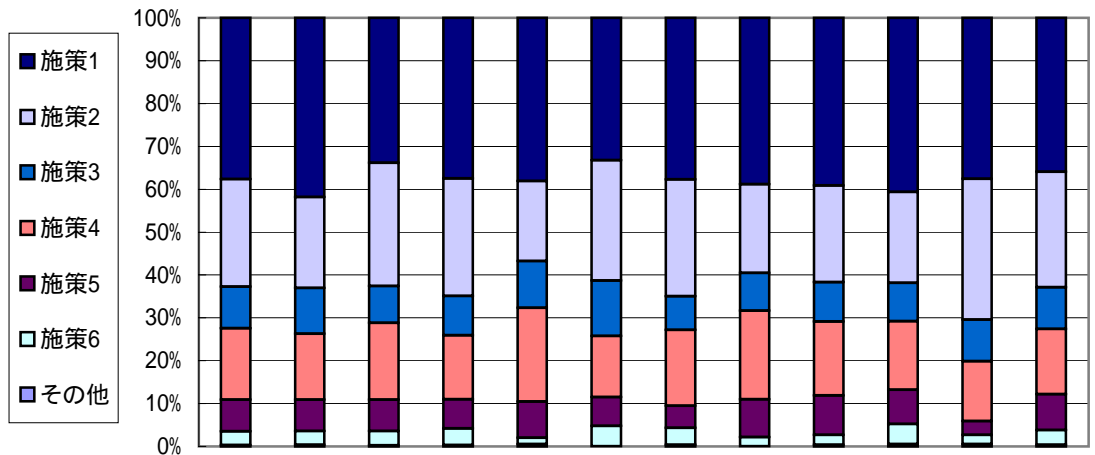


対象年度 H17

政策番号 3 - 8 - 1

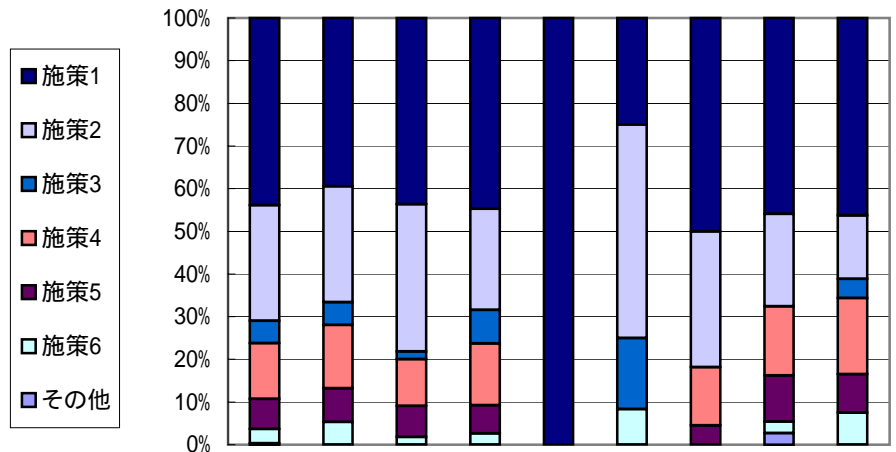
政策名 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉
施策1	文化財、伝統文化の保存・継承・活用	37.6	41.8	33.8	37.5	38.1	33.3	37.7	38.8	39.1	40.6	37.6	35.9
施策2	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	25.1	21.2	28.8	27.4	18.7	28.1	27.3	20.7	22.6	21.2	32.8	27.0
施策3	県民が行う創作活動や表現活動への支援	9.7	10.7	8.6	9.2	10.9	12.9	7.8	8.8	9.2	9.0	9.7	9.7
施策4	食文化等の生活文化の保存・継承・活用	16.6	15.4	17.9	14.9	21.9	14.3	17.7	20.7	17.2	16.0	14.0	15.2
施策5	文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	7.4	7.3	7.3	6.8	8.5	6.7	5.2	8.8	9.2	8.0	3.2	8.4
施策6	海外との文化交流等の推進	3.2	3.2	3.4	3.9	1.5	4.8	3.9	2.2	2.3	4.7	2.2	3.4
	その他	0.3	0.4	0.2	0.3	0.5	0.0	0.4	0.0	0.4	0.5	0.5	0.4

(5) 有識者(市町村職員・学識者)満足度結果(施策別・優先度1位割合)



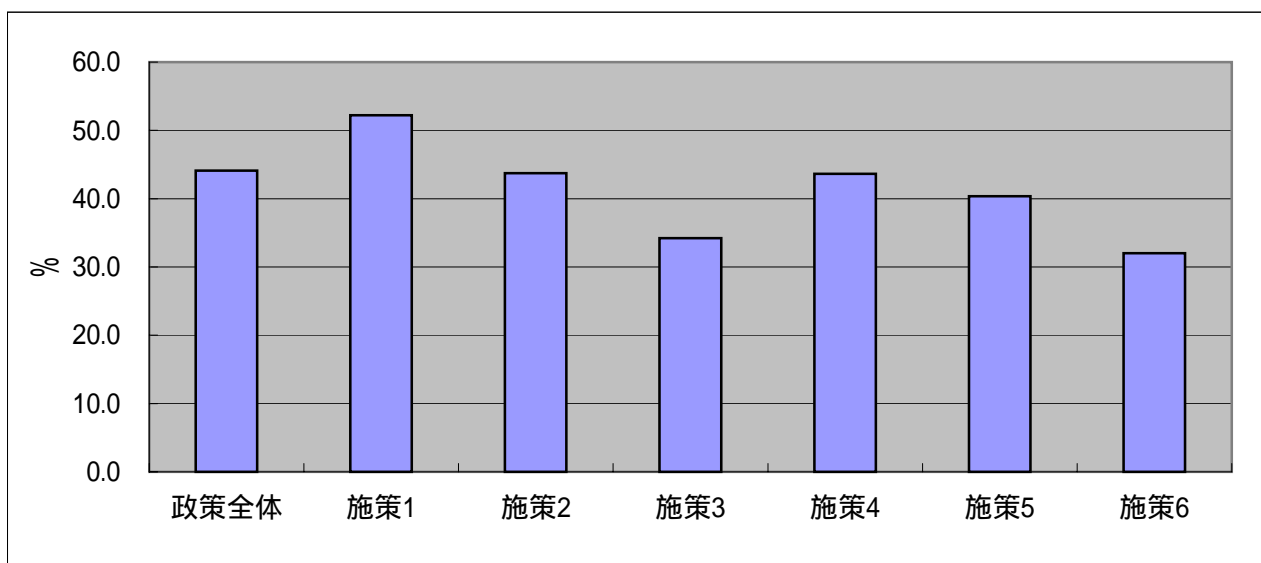
施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	
施策1	文化財、伝統文化の保存・継承・活用	43.9	39.5	43.6	44.7	100.0	25.0	50.0	45.9	46.3
施策2	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	27.1	27.2	34.5	23.7	0.0	50.0	31.8	21.6	14.9
施策3	県民が行う創作活動や表現活動への支援	5.2	5.3	1.8	7.9	0.0	16.7	0.0	0.0	4.5
施策4	食文化等の生活文化の保存・継承・活用	13.1	14.9	10.9	14.5	0.0	0.0	13.6	16.2	17.9
施策5	文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	7.0	7.9	7.3	6.6	0.0	0.0	4.5	10.8	9.0
施策6	海外との文化交流等の推進	3.4	5.3	1.8	2.6	0.0	8.3	0.0	2.7	7.5
	その他	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0

対象年度 H17

政策番号 3 - 8 - 1

政策名 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興

(6) 政策・施策満足度60点以上の回答者割合(一般県民、単位:%)



施策番号	施策名	第5回							
	政策全体	44.1							
施策1	文化財、伝統文化の保存・継承・活用	52.2							
施策2	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり	43.7							
施策3	県民が行う創作活動や表現活動への支援	34.2							
施策4	食文化等の生活文化の保存・継承・活用	43.6							
施策5	文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成	40.4							
施策6	海外との文化交流等の推進	32.0							